

# 三世代つなぐ**保育士**になり 地域を元気に



## 新見公立大学 NiiU

### 子どもの発達支える 保育の専門職育成

地元にある新見公立大学に親しみを感じ、中学生のころから進学を希望していました。

もともと子どもが好きでしたが、高校時代に新見公立大学の教授の「子どもの心理学」の授業を受けたことがきっかけで保育に興味を持ち、「先生の授業をもっと聞きたい」と健康保育学科に進みました。

大学は保育士資格をはじめ、幼稚園教諭一種、特別支援学校教諭一種の資格を同時に取得できるのが特色です。



健康科学部  
健康保育学科 1年

**中川 美月**さん

岡山県立新見高校卒

また発達障がいや病児など幅広い保育の専門知識と実践力を身に付けるため、卒業時には大学独自の称号「子ども発達支援士」も授与されます。

先生方は保育や福祉、心理などの深い専門知識を持ち現場に精通した方ばかり。どの授業も面白く、学問への興味の幅がどんどん広がっています。

大学は地域との関わりが密接です。学内には親子が利用できる施設「子育てカレッジ交流広場・にこたん」があり、学生が子どもと触れ合い保育士の実地体験ができます。ボランティア活動も盛んです。



「子どもの貧困」についてグループワークを行う中川さん(左から2人目)

で、私も夏休みには母校の小学校に宿題や遊びを教えに行く予定です。

将来は保育士になって地元で働きたい。お年寄りや子どもの間をつないで三世代間交流を活発にし、地域を元気にしたいと思っています。